



日本 リハビリテーション 病院・施設協会誌

2020年冬
No.174



特集	リハビリテーション・ケア合同研究大会 金沢2019	
	「地域共生社会に向けたリハ・ケアの課題と展望」 ……	10
	令和元年度 第1回リハビリテーション研修会 ……	14

巻頭言	
地域包括ケア時代における総合リハビリテーション 吉永勝訓	3
特集1 リハビリテーション・ケア合同研究大会 金沢 2019	
地域共生社会に向けたリハ・ケアの課題と展望 斉藤正身	10
特集2 令和元年度 第1回リハビリテーション研修会	
研修会報告 テーマ「令和時代に求められる医療とリハビリテーション～次期診療報酬改定を見据えて～」	14
REPORT	
令和元年度 第4回理事会議事録 抄録	4
令和元年度 第5回理事会議事録 抄録	7
第6回日本予防理学療法学会学術大会を終えて 浦辺幸夫, 他	17
NPO 法人日本リハビリテーション看護学会第31回学術大会を終えて 石川ふみよ	18
第3回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会を主催して 笠原 隆	19
病院・施設紹介	
青梅慶友病院 吉際俊明	20
好日	
第11回 ALS に対するリハビリの効果について 深瀬和文	22
潮流を読む 佐藤英雄	23
新刊紹介・書評	
『はじめてでも簡単! 3D プリンタで自助具を作ろう』 評者: 川本愛一郎	25
『みんなよくなれ 鳥獣りは』 評者: 内山量史	26
『長崎発地域包括ケアとリハビリテーションーこれからの地域医療のかたち (救急車とリハビリテーション③)』 評者: 内山量史	27
『機能・活動・参加とQOL を高めるリハビリテーション薬剤』 評者: 大野重雄	28
お知らせ	
2020年当協会主催/共催 学会・研修会	16
リハビリテーション・ケア合同研究大会 大阪 2020	30
事務局からのお知らせ	31
ご案内	
2020年リハビリテーション関連学会・研究会・研修会	29
編集後記 内山量史	32



小路多仁子「胡蝶蘭」

デイサービスが華やかになるようにと、胡蝶蘭の造花を作製していただきました。以前は薔薇の造花も作製していただき、趣味でさまざまな手芸などにも取り組まれています。

巻頭言

地域包括ケア時代における総合リハビリテーション



吉永勝訓

千葉県千葉リハビリテーションセンター

千葉県千葉リハビリテーションセンター（以下、千葉リハ）は1981年に千葉県が設置した、いわゆる総合リハセンターです。一般に総合リハセンターでは、入院や外来での医学的リハから、福祉施設における社会リハや職業リハ、障害者に適したスポーツの指導といった幅広い分野の活動を行っており、1970年頃から1990年代にかけて国や自治体が全国十数カ所に設置しましたが、2000年以降はあまり開設されていません。

私は1980年に医学部を卒業後しばらくして、患者の機能障害だけでなく生活や就労など社会参加にかかわる総合リハに興味をもちリハ医になりました。そのような中、高齢化や寝たきり問題が徐々に深刻化し、2000年には介護保険の導入、回復期リハ病棟の設置、国から都道府県への地域リハ推進事業実施要綱提示など、国が高齢化対策としてリハを活用する姿勢が明確になり現在に至っています。そして2005年には地域包括ケアシステムが提唱され、2014年に法的に定義されました。

千葉リハの理念は「誰もが街で暮らすために」であり、それに加え2015年からの5年間のテーマとして「地域包括ケア時代をリードする総合リハセンターへ」を掲げています。国が提唱する地域包括ケアシステムが徐々に構築される中で、障害児・者を対象にした千葉リハも殻を破って“地域で支える時代”に向けた新たな取り組みを提案・実行しよう、ということです。

千葉リハでは小児療育、および脊髄損傷と高次脳機能障害へのリハに特に力を入れています。小児部門は、2012年に肢体不自由児と重症心身障害児の施設を医療型障害児入所施設に統合するとともに、未就学児と重度心身障害者と対象とした通園施設を立ち上げました。未熟児死亡率の減少などにより利用者の重度化は深刻で、今では約30台

の人工呼吸器が動いています。県内の他重心施設を合せても新たに入所できる重症心身障害児は毎年わずかであり、社会的に厳しい方以外は人工呼吸器の方も含めて在宅生活を提案しています。その代わりに千葉リハでは在宅生活をサポートするための取り組みを積極的に展開し、8週間の親子入園7組や、短期入所に約20床を充てています。通園や短期入所は高齢者におけるデイサービスやショートステイに匹敵しますので、在宅生活に必要なサービスは重度障害児でも高齢者でも共通しています。また、地域では在宅診療や訪問看護等において、障害児も高齢者と同じ方が対応することが多く、千葉リハでは以前から行っている学校教員や施設職員への研修に加え、在宅診療医師、訪問看護師などを含め地域で支える方々を対象に現在9種類の研修を行っています。

一方、高次脳機能障害については県の支援拠点機関であり、小児・成人病棟、外来でのリハ、障害者支援施設での自立訓練や就労移行支援に加え、高次脳機能障害支援センターではグループ訓練や各市町村・家族会等へ職員を派遣し、同障害者の地域定着を目指しています。また在宅頸髄損傷者や重心児・者を対象としたアウトリーチの試行を開始しました。千葉県では地域リハ支援体制事業が継続しており、千葉リハが県支援センターも務めていて県の地域包括ケア関連施策にもかかわっています。

国は高齢者だけでなく障害者や小児、生活困窮者なども含めた「地域共生社会の実現」を提唱し始めました。現在、千葉リハが目指している方向は新しい時代に適応できる提案であり、障害児・者に対する総合リハセンターの役割は今後、改めて重要になってくると考えています。

※このページ以降の誌面をご覧ください。場合は、
当協会への入会が必要です。

ご入会のお手続きは下記へ



【入会について】

<https://www.rehakyoh.jp/join.html>